### 11. 取組内容の進捗状況(令和5年度)

#### ■ 共通の成果指標と達成目標

#### 国際化関連

#### 〇渡航留学の本格再開と学生支援

今年度新たに学術交流協定2件、交換留学協定6件を締結し、 交換留学協定校は63カ国343校となった(2024年3月時点)。交 換留学では、受入はコロナ前以上、派遣もコロナ前に近いレベ ルに回復し、双方向での活発な交流を継続している。

留学カウンセリングは対面とオンライン両方で学生の多様なニーズに応えており、今年度は延べ約850名が利用した。留学前の相談に加え、留学後の海外大学院への進学希望等、学生の状況に寄り添った支援を行っている。

## 〇英語コース(SPSF (Sophia Program for Sustainable Futures) - 持続可能な未来を考える6学科連携英語コース-)から初の卒業生(早期卒業者)を輩出

新聞、教育、社会、経済、経営、総合グローバルの6学科が協働して運営する学融合型英語学位プログラムSPSFは、2020年秋の開設から4年目を迎えた。欧米やアジアなど、多様なバックグラウンドをもった学生が入学し、「持続可能な未来」を考えるための基礎的な理論や手法と、各学科の専門知識を融合した学びを深めている。2023年度秋学期末には、6学科170名在籍のコースに成長し、早期卒業制度を利用したSPSF生1名を輩出したほか、2024年9月には第1期生の卒業を控えている。

## 〇語学レベルの測定・把握、向上への取り組みで在校生の半数がCEFR B2以上達成

グローバル教育の基盤強化を図り、全学部で英語や外国語での実施科目を1,847 科目(採択時比約2倍、全授業科目の23.5%)まで増やした。英語学習アドバイザーの配置や大学院生向けTOEICの受験補助等の支援も行い、CEFR B2 以上を満たす学生数は、2013年度の1,890 人から7,380 人に達し、大学院生も含む全学生の51.2%が留学も可能な外国語能力を持つ結果となった。また、語学学習のための環境整備や支援強化と共に、多言語多視座での学びを重視しており、外国語学部では、CEFR 要件に英語だけでなく、各学科の専攻言語での基準も加え、それを満たす学生の把握にも取り組んだ。

#### 〈協定校数と大学間協定に基づく 派遣/受入数推移〉

最終年度目標値 派遣:1,600 受入: 726





FD D2以上の無労力を与する

〈CEFR B2以上の語学力を有する 学生数推移》 380 5,635 \_ 大学院生 576 ■学部生 545 443 431 256 244 6,804 5,090 5,189 5,53<mark>4</mark> 1,634 1,943

#### ガバナンス改革関連

#### 〇大学の新中長期計画「グランド・レイアウト3.0(GL3.0)」(2023-2030 年度)の始動とSGUでの取組の継承

2015-2023年度の大学の中長期計画「グランド・レイアウト(GL 2.0と2.1)」では、本構想の目標を大学全体の主要方針にも据え、本事業と連動させて取り組み、SGU事業の目標指標の約8割を達成した。2023年度には、急激な社会情勢変化への対応として一年前倒しで新中長期計画(GL3.0)を開始したが、SGUでの取組の発展と、国際通用性の更なる向上を継続する方針が示された。また、本事業で設置したグローバル化推進本部会議でも検討が行われ、意見は大学運営に向けた今後のアクションプランにも反映された。

#### OIR活動の推進と分析データの学内、他大学との共有

本事業により導入した分析のためのBI(ビジネスインテリジェンス)ツール「Tableau」を駆使し、学生調査データ、教学・経営情報、世界大学ランキング等のデータ分析を行い、結果は定期開催される「教学説明会」等で学内へ共有・報告がなされた。7月には関西学院とシンポジウムを共催し両校のIR活用方法、コンピテンシー獲得状況の分析結果を元に改善状況を広く共有した。異なる大学での質保証へのIR活用事例を示し、参加者から好評を得た。

また、THEインパクトランキング2023では、「SDG14 海の豊かさを守ろう」が世界41位となり、本学初の100位以内の結果となった。国連大学SDG大学連携プラットフォーム(SDG-UP)で報告も行う等、多様性や持続可能な社会の実現への取組等、本学が重視する分野での教育研究成果を国外に示すことができた。

#### ○国際化アドバイザリーボード(外部評価委員会)の開催

大学のグローバル化への施策全般に対する外部評価並びに第三者の視点からの提言を得るために、今年度も国内外の有識者による第4期外部評価委員会(アドバイザリーボード)を開催した。10名の外部評価委員で構成され、2023年度は9月と1月に開催し通算17回目となったが、特に1月は国内外から出席した9名によるSGUの成果確認とSGU後の大学の国際化のさらなる強化に向けた、活発な意見交換が行われた。また、同日のSGU総括シンポジウムにも一部委員が登壇し、示唆あるご意見をいただいた。





〈国際アドバイザリーボードを対面開催〉

#### 教育改革関連

#### ○学生の主体的参加と大学運営への反映の促進

FD 委員会の下で全面見直しを行い、学生による授業評価実施授業科目を学部のほぼすべての科目に拡充した。これにより、2023 年度のアンケート実施科目数は、学部と大学院合計で5,545科目(全授業科目の76.8%)となり、目標の3,100科目を大幅に上回った。また、各教員・開講所属での結果分析が行えるよう体制を整備し、授業改善の資料等としても活用されている。

また、高評価を得た授業をGood Practice として表彰する制度も設け、2023年度 は各学期36科目の担当者が表彰された。こうしたことにより、学部授業内のアクティブ・ラーニング機会の増大などにもつながっている。

#### ○ スイスGraduate Institute(GI)との3+2プログラム修了者を輩出

本学学部3年と先方大学院2年の計5年間(5.5年)で、学士と修士号取得が可能なスイスのジュネーブ国際・開発研究大学院(GI)との3+2プログラムを新設し、2021年度秋から学生を派遣している。数多くの国際機関職員や外交官を輩出する大学院とのプログラムで人気も高く、優秀な進学希望者の累計派遣数は7名となった。2023年度は2021年度に開始した3名が修士号を取得する等、本事業をきっかけに卒業後に向けて、より高い目標にも取り組めるプログラムの整備につながった。

#### ■ 大学独自の成果指標と達成目標

#### 〇グローバルSDの実施によるグローバル対応能力向上への取組

職員のグローバル対応力の向上の一環として、新入職員4名がオンライン英会話とe ラーニングプログラムを受講した。リスニング力の向上等があり、海外招聘教員や日本語話者以外の教職員との対応に活かされている。 また、実践型プログラムでの職員の引率に加え、今年度はベルリン自由大学(ドイツ)主催Erasmus+ ProjectのStaff Mobility Programに職員5名を派遣した。国際化部門のみならず、人事、図書館、就職支援部署等、多様な部門のスタッフがグローバルな大学運営の知識を深める経験につながった。

#### ■ 大学の特性を踏まえた特徴ある取組(タイプBのみ)

#### ○ 国際ネットワークへの参画 カトリックネットワークによる学生・研究の交流

国際イエズス会大学連盟(IAJU:International Association of Jesuit Universities)をはじめとするカトリック大学のコンソーシアム活動に加え、研究面でもカトリック研究大学戦略アライアンス(SACRU: Strategic Alliance of Catholic Research Universities)にも継続参加している。 2023年11月にAJCU-AP(Association of Jesuit Colleges and Universities in Asia Pacific)の年次国際教育実務担当者会議を本学で開催し、13 大学から17 名が来日した。本学教職員もCOIL やリーダーシッププログラム等、教育面の連携について話し合い、顔の見える交流を通して連携を深めた。

#### O IAU(International Association of Universities)国際会議ホスト校に決定

現在学長がアジア地区の理事を務める国際組織IAUのカタール国際会議において、2024年秋のIAU 国際会議の本学での開催が発表された。IAUは地球規模の課題に対処し、国際的な協力を通じた教育 機会を提供するほか、持続可能な開発目標(SDGs)等も活動テーマの柱としている。国際会議には世界 中の高等教育機関から300名程度の参加が見込まれており、東京での会議受入により、IAUや参加大学 と国内大学連携のきっかけ作り等、国際連携に向けて大きな役割を担うことが期待される。

#### ■ 自由記述欄(取組について自由にアピールしてください) 〇 総括シンポジウムの開催

「卒業生とともに考えるSGU事業の成果とグローバルな学びの未来」と題し、関西学院大学と共催で、10年間のSGU事業を総括するシンポジウムを開催した。両校の教育の国際化に関する取組の好事例を紹介、また、その事業の充実したプログラムで学んだ卒業生と、高等教育国際化の専門家やSGUに熟知した本学外部評価委員2名がコメンテーターとして登壇し、活発なパネルディスカッションを行った。

#### 〇海外拠点の現地法人化による実践的な学びの拡充 自走化と取組の横展開

タイ・バンコクの「上智大学ASEANハブセンター」から2019年に現地法人Sophia Global Education and Discovery Co., Ltd.(Sophia GED)を設立することで経営面の自走化と教育プログラム機能の発展的な強化を図った。Sophia GEDは、本学の広報活動や東南アジアでの実践型プログラムを本学向けに実施するだけでなく、他大学にも同様のプログラムを提供し、2023年度春休みには、本学の教育連携校(キリスト教系中高)26校の生徒向けに、タイでのスタディーツアーを新規で企画運営することで、高校生や他大学も含めた国際教育の実施に大きく貢献した。

また、2020年度に同社で開始した「せかい探究部」(オンラインの探求学習プログラム)には、2023年までに約170人に及ぶ国内外の日本人高校生が参加し、本学教員らによるレクチャー・個別ゼミや本学学生との協働学習を通して論文を作成した。このプログラムは、新たなスタイルの高大連携企画として、本学学生・高校生の双方へ多層的で実践的な学びを提供する機会を創出した。

#### 【上智大学】



〈授業評価アンケート結果は学内で掲示・公開〉



〈スイスのジュネーブ国際・開発研究大学院**〉** 



〈 Erasmus+の研修プログラムにて〉



〈AJCU-AP国際教育実務担当者会議を

本学で開催〉



〈カタール会議で2024年の日本開催を発表〉



〈総括シンポジウム パネルディスカッション〉



〈東南アジアでの実践型プログラムの様子〉

#### 11. AY2023 Progress

#### ■ Common Indicators and Targets

#### Internationalization

#### O Full Resumption of Study Abroad Programs and Student Support

In Academic Year 2023, 2 new academic exchange and 6 student exchange agreements were signed, bringing the total number of exchange partner institutions to 343 across 63 countries (as of March 2024). In terms of student exchanges, the number of incoming has surpassed pre-pandemic level, and the number of outgoing students recovered to pre-pandemic level, ensuring continued bilateral exchanges.

Our study abroad counseling services has responded to the diverse needs of students both in-person and online, with approximately 850 students utilizing the service this academic year. In addition to pre-departure counseling, it also catered to the needs of the students after their return from study abroad, such as their interests to pursue graduate studies overseas, ensuring support tailored to each student's situation.

#### O First Graduate from the English Degree Program SPSF

#### (Sophia Program for Sustainable Futures)

The interdisciplinary English degree program SPSF, operated collaboratively by the six departments of Journalism, Education, Sociology, Economics, Management, and Global studies, is now in its fourth year since its establishment in the fall 2020. Students from diverse backgrounds, including Europe, America and Asia, etc. have enrolled in the program, deepening their understanding of foundational theories and methods for considering "sustainable futures" while integrating specialized knowledge from each department. At the end of the Autumn semester 2023, the program had grown to 170 students across 6 departments, with one SPSF student graduating early. Additionally, the first cohort is scheduled to graduate in September 2024.

#### O Language Proficiency Measurement and Improvement Efforts Found Over Half of **Current Students Achieving CEFR B2 Level**

To strengthen the foundation of global education, the University significantly expanded the number of courses conducted in English and other foreign languages across all faculties to 1,847 (This is nearly double the number at the start of TGUP, now comprising 23.5% of all courses). The University also provided support such as installing of English learning advisers and TOEIC test fee assistance for graduate students. Through these initiatives and the measurement of language proficiency, it was found that the number of students meeting CEFR B2 level or above increased from 1,890 in the 2013 academic year to 7,380. Now, 51.2% of all students, including graduate students, have the foreign language skills necessary for studying abroad.

In addition to enhancing the environment and strengthening the support for language education, a multilingual and multi-perspective learning approach were also emphasized at Sophia. The Faculty of Foreign Studies set the CEFR targets not only for English but also for the languages majored in each department and worked on identifying students who met these requirements.

#### **Targets** <Trends in Partner Univ Agreements and outbound: 1,600 incoming: 726 Student Exchange Numbers> 1034 1065 1000 993 1000 815 800 663 338 600 432 332 400 200 2013 2014 2020 2021 Outbound Incoming

Exchange partners



<SPSF Class Scene>

<Students with CEFR B2> Graduates 576 5,635 Undergrads 545 443 5.189 1,943 1,634 Actual Target 2023 2023

#### Governance Reform

O Launch of the Mid- to Long-term Plan of the University's "Grand Layout 3.0 (GL3.0)(AY2023-2030)" and Continuation of TGUP Initiatives Under the university's mid- to long-term plans "Grand Layout 2.0, 2.1 (GL2.1)" for the AY2015-2023, the goals of TGUP initiatives were aligned with the university's main policies, achieving approximately 80% of the TGUP target indicators. In AY2023, in response to rapid changes in social conditions, the University launched a new mid- to long-term plan (GL3.0) one year ahead of schedule. This plan continues to further develop TGUP initiatives and enhance international compatibility. In addition, discussions were held at the Globalization Promotion Committee meetings established under the University's TGUP, and the opinions were incorporated into future action plans for university administration.

#### O Promotion of IR Activities and Sharing of Analytical Data within the University and with **Other Universities**

Using the Business Intelligence(BI) tool "Tableau" implemented through this project, the University conducted data analysis on student survey data, educational and management information, and world university rankings, etc. The results have been shared and reported internally at regularly held "Academic Information Sessions". In July, the university co-hosted a symposium with Kwansei Gakuin University, where we broadly shared improvement status based on the analysis of IR usage methods and competency attainment statuses in both universities. This showcased examples of IR utilization for quality assurance at different universities and received positive feedback from participants.

In addition, in THE Impact Rankings 2023, Sophia ranked 41st worldwide in "SDG 14: Life Below Water", marking our first entry into the top 100. We also reported the achievements at the United Nations University SDG Universities Platform (SDG-UP), demonstrating globally the educational and research achievements in areas prioritized by our university, such as diversity and realization of a sustainable society.

#### O Evaluations and Recommendations from the International Advisory Board

To obtain external evaluations and recommendations from a third-party perspective on the university's globalization initiatives, the fourth-term external evaluation committee (Advisory Board) consisting of 10 experts from both Japan and abroad met twice in September and January of AY2023, marking the 17 meetings in total from the first term. In particular, the January meeting was notable for active discussions among nine members from both Japan and abroad, on the achievements of the TGUP and further strengthening of the university's internationalization post TGUP. Some members of the Advisory Board also participated in the TGUP wrap-up symposium held on the same day, providing insightful comments and opinions.





<International Advisory Board Meeting Held in face-to-face format>

#### **Educational Reform**

#### O Promotion of Students' Proactive Participation and Reflection in University Management

Under the FD Committee, a comprehensive review was conducted, expanding the scope of courses subject to student evaluations to include nearly all undergraduate courses. As a result, the number of courses surveyed in the AY2023 reached 5,545 (76.8% of all courses) across both undergraduate and graduate programs, significantly exceeding the target of 3,100 courses. Furthermore, a system was established to enable each faculty member and department to analyze the results, which are also utilized as materials for improving courses.

Additionally, a system was introduced to recognize highly evaluated courses as Good Practices, with 36 course instructors being awarded each semester in the AY2023. These efforts have also led to an increase in active learning opportunities within undergraduate courses.

O Students Graduated from the 3+2 Program with the Graduate Institute (GI) in Switzerland Sophia established a 5-year (5.5 years) 3+2 program with the Graduate Institute of International and Development Studies in Geneva, Switzerland allowing students to earn both a bachelor's and master's degrees in three years at our undergraduate and two years at their graduate level. Dispatch of the students began in Autumn 2021 and the program is very popular due to the Institute's high reputation for producing many international organization staffs and diplomats. There have been total of seven excellent students sent from the university to date, and in AY2023, three students who started in AY2021 obtained their master's degrees. The TGUP initiative has led to the creation of a program that



【Sophia University】

<Course evaluation survey results are posted and made public within the university>



<Graduate Institute of International and Development Studies in Geneva, Switzerland>

University's Own Indicators and Targets

enable students to pursue their higher aims for life after graduation.

#### O Global SD(Staff Development) Implementation to Enhance Global Competence

As part of an initiative to improve the global responsiveness of our staff, four new members participated in an online English conversation course and E-learning program. This has led to improvements in listening skills, which is beneficial in interactions with visiting international faculties and non-Japanese speaking faculties. In addition to sending staff to lead social engagement programs for students, the University this year sent five administrative staff members to the Erasmus+ Project "Staff Mobility program" hosted by the Free University of Berlin (Germany). Not limited to staff in the international office, staff members from various departments such as human resources, library services, and career support, gained valuable experience and deepened their knowledge of global university operations.



<At Erasmus+ Staff Mobility Program>

#### Featured Initiatives Based on the Characteristics of the University (Type B only) O Participation in International Networks: Student and Research Exchanges through Catholic

## Networks

In addition to consortium activities with Catholic universities such as the International Association of Jesuit Universities (IAJU), the University continue to participate in the Strategic Alliance of Catholic Research Universities (SACRU) for research as well. In November 2023, Sophia hosted the annual international Officers' Meeting of the Association of Jesuit Colleges and Universities in Asia Pacific (AJCU-AP) welcoming 17 representatives from 13 universities. Our faculty and staff also discussed educational collaborations, including COIL and leadership programs, deepening cooperation through face-to-face interactions.



< AJCU-AP International Officers' Meeting>

O Selected as the Host Institution for the IAU (International Association of Universities) International Conference At the IAU International Conference 2023 in Qatar, it was announced that Sophia University will host the IAU International Conference in the fall 2024. The IAU, where our university president currently serves as a board member for the Asia region, addresses global challenges and provides educational opportunities through international cooperation, with focus on key themes such as the Sustainable Development Goals (SDGs). The conference is expected to attract around 300 participants from higher education institutions worldwide. Hosting the conference in Tokyo is anticipated to play a significant role in fostering international collaboration and creating new opportunities for partnerships between IAU and participating institutions including domestic universities.

# <Announcing Japan's hosting in

#### ■ Free description (Any Message or Information on Initiatives/Programs)

#### O Top Global University Project (TGUP) Symposium Held

Titled "Reflecting on the Achievements of Top Global University Project Initiatives and Exploring the Future of Global Learning with Alumni," the University co-hosted a symposium of the TGU project with Kwansei Gakuin University to summarize the ten-year Project. The symposium showcased best practices in the internationalization of education at both universities. Additionally, graduates who benefited from these programs of the project, along with Sophia's two advisory board members familiar with TGUP and experts in higher education internationalization, participated as commentators, engaging in a lively panel discussion.

OExpansion of Practical Learning through Incorporation of Overseas Office: Self-Sustaining Operations and Sharing Outcome of the TGUP Initiatives to Other Japanese Universities

In 2019, the University established Sophia Global Education and Discovery Co., Ltd. (Sophia GED) from "Sophia University ASEAN Hub Center" in Bangkok, Thailand, to achieve self-sustaining management and enhance the educational program functions. Sophia GED not only conducts our university's public relations activities and social engagement programs in Southeast Asia but also provides programs to other universities. During the spring break of AY2023, Sophia GED organized and operated a new study tour in Thailand for students from 26 Christian-affiliated junior and senior high schools that are educational partners of our university. By offering these various programs, Sophia GED contributed significantly to the implementation of international education at high schools and other Japanese universities.

Additionally, by AY2023 approximately 170 Japanese high school students participated in the "Sekai Tankyu-bu" (World Exploring Club, online inquiry-based learning program) launched by Sophia GED in the AY2020, where students have written research papers while attending lectures and individual seminars by our university's faculty and collaborative learning with Sophia students. As a new style of high school-university collaboration program, this initiative has provided multifaceted and practical learning opportunities for both our university and high school students.

2024 at the Qatar conference >



< Lively Panel discussion at TGUP Symposium>



<Social engagement program in Southeast Asia >